

令和7年度第6回常滑市教育委員会定例会

令和7年9月17日(水)

午後2時00分

市役所1階会議室I

1 開会 午後2時00分

2 前回定例会会議録の承認  
承認

3 会議録署名者の指名  
藤田幸恵委員

4 出席委員  
安井由希子委員、久田孝寛委員、梶田幸司委員、藤田幸恵委員、土方宗広教育長

5 欠席委員  
なし

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、8月28日の定例会以降の教育委員会の動きをご報告いたします。

まず、8月30日と9月6日には「西浦南小学校のあり方に関する説明会」を行いました。保護者のご都合も考えて2回設定しました。しかし参加される人数はどちらの会も20名にも満たない状況でした。時期的に関心度は今一つなのかなという印象を受けましたが、現在アンケートを実施しておりますので、そちらの回答率や回答内容を注目していきたいと思います。

31日の午後には、「第3回図書館市民ワークショップ」を参観させていただきました。県内外の図書館を視察した市民の皆さんから視察した感想や意見を聴く時間が設定されており、私には多くの情報を得る機会となりました。

9月2日には市議会が開会し、3日と4日に一般質問がありました。加藤代史子議員と岩崎忍議員からは、小学生児童の熱中症対策についての質問を受けました。小学校の普通教室に冷凍庫を111台設置し、9月1日から使用できるようにしたこと、下校する前に水分補給させるなどの対策を怠らないようにしていくこと、熱中症予防声かけプロジェクトへの参加は今後検討していくことを答弁しました。坂本直幸議員からは、小・中学校の防犯対策として、防犯カメラを設置したらどうかという質問を受けました。学校安全は非常に大切な対策であるため、計画的に設置できるよう検討していくと答弁しました。宇佐美美穂議員からは、特別教室、柔剣道場へのエアコン設置についての質問を受けました。学校現場の児童生徒、先生の大変さを理解している。いきなり全ての場所にエアコンを設置することは難しいが、早期に設置できるよう努力していくと答弁しました。

9月6日には、第6回体力向上プロジェクトを開催しました。市体育館が改修工事

のため、今回は会場を西北小体育館に変更しました。応募人数は小学校低学年を中心にした22名でした。少人数でしたが、愛教大の鈴木一成先生と大学生たちとともに、運動することの楽しさを存分に感じることでできる時間となりました。

8日の午後は「しとねる改訂検討委員会」を開催しました。完成に近づきつつあり、現在は、現行案を全教職員に見ていただき、気になる点などご意見を集約中です。

9月10日は知多教育懇談会に安井委員とともに出席しました。今回はグループ討議の時間が設定され、教員の勤務の実態と校務の効率化を中心に、阿久比町の皆さんと20分ほど話し合いをしました。

11日の校長会議では、2学期も安全安心第一で学校経営を行うこと、問題が発生したら校長が初期対応から積極的に出て行くことを私から指導助言しました。また教員の多忙化解消への対応案について、来月、臨時校長会議を開いて検討することを決めました。

12日は南陵中学校の学校訪問でした。どの先生も授業改善をしたいという意欲が見られ、生徒達も落ち着いて授業に集中する姿が多く見られました。午後の協議会も活発に行われ、よい教職員集団だと感じました。

報告は以上でございます。

本日の定例会は、1つの議題が予定されております。また、終了後は、校長会予算要望説明会があります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 7 議題 付議事件

議案第1号 令和7年度常滑市教育委員会点検及び評価報告書について

学校教育課長、生涯学習スポーツ課長、給食センター所長：資料に基づき説明  
教育長：何かご質問ございませんか。

安井委員：評価の基準がわかりやすくなって良かったです。

17 ページの令和6年度の活動内容の記号がアルファベットと数字が混在していますが正しいですか。

学校教育課長：申し訳ございません。訂正します。

安井委員：97 ページの次のページにある〈参考資料〉の「4 不登校者数」で、  
小学校の不登校者数は令和5年度のおよそ2倍ですか。

学校教育課長：確認します。

教育長：他にご質問ございませんか。

久田委員：評価としてAをつけると、改善する努力がストップしてしまう気がします。Aの場合は意識して改善していかなければならないと思います。

学校教育課長：Aであっても次年度は評価が下がる場面があります。Aであってもさらなる改善をしていきたいと考えています。

教育長：他にご質問ございませんか。

梶田委員：総合評価が5段階評価で、今回はほとんどがB以上ということですが、評価の仕方を今後考えていく必要があると思います。また、今後の取組と方向性はこちらが示すもので、丁寧な文章ではなく、箇条書きでよいのではと思います。

教育長：他にご質問ございませんか。

藤田委員：不登校とはどういう子どもことを言いますか。

学校教育課付課長：定義としては、年間 30 日以上の欠席者のうち、その理由が病気などの場合は除くとなっています。

藤田委員：働き方改革のところでは評価 A ですが、現実問題として残業時間等はどうなっていますか。

学校教育課付課長：働き方改革についてですが、超過勤務の縮減は年々進んでいます。今年度については、各学校に対し、45 時間を超える教員を定員の半分以下にするよう伝えています。

藤田委員：働き方改革としてはよいのですが、生徒への影響はどうでしょうか。

学校教育課付課長：働き方改革の目的は、先生が心にゆとりを持ち、体を休めて、十分に子どもと向き合えるようにすることです。そのせいで、授業が下手になったとか、子どもたちの接し方がぞんざいになったとかはありません。

教育長：他にご質問ございませんか。

安井委員：温水プールとトレーニング室が離れていますが、一緒にあるのが理想だと思います。プールの利用が減ってきているようですが、プールとトレーニングの割引チケットはありますか。

生涯学習スポーツ課長：温水プールとトレーニング室のセット券はありませんが、ジムの利用者から、ついでにプールに入りたいという意見があります。

また、今は温水プールを“プール”として利用していますが、今後は子どもにも利用してもらえるようなイベントの開催を含め、指定管理者と検討しているところです。

教育長：他にご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

## 8 その他（諸報告について）

- ・ イベント「キミもアスリート！スケボー・フェンシング チャレンジ DAY」の報告について

生涯学習スポーツ課長が 資料に基づき説明

- ・ 行事連絡（10～12月）

学校教育課長が資料に基づき説明

## 9 閉会 午後 3 時 00 分